

第3期中期計画のスタートにあたって

理事長 岡田義光



はじめに

防災科学技術研究所が2001年4月に国立の試験研究機関から独立行政法人という組織に生まれ変わって10年が経ち、2011年4月から第3期中期計画がスタートしました。

このスタート直前の3月11日、わが国の観測史上最大となるマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、巨大な津波により2万人近い死者・行方不明者を生じる未曾有の大災害となってしまいました。東日本大震災の惨状を目の当たりにして、私たちは、当研究所の使命である防災に関する基礎研究や基盤技術開発の推進、そして成果の社会への還元になお一層努めるべく、決意を新たにしています。

第2期の成果

地震災害分野では、1995年の阪神・淡路大震災を受けて整備が進められた全国的な地震観測網、および実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェンス）を強力な道具として、様々な「ゆっくり地震」の発見や「緊急地震速報」の実用化、構造物の破壊過程解明や耐震性能の検証などを進めてきました。

また、火山災害分野では、我が国の主要な活動的火山に対する基盤的火山観測施設の整備を開始し、観測データの収集・流通を通じて気象庁における監視業務や全国の大学における火山研究に貢献する体制を整えつつあります。

気象災害分野では、当研究所が長年培ってきた気象レーダに関する技術が、近年大きな問題となってきている集中豪雨の監視に威力を発揮することが実証され、浸水被害危険度の予測や土砂災害危険度の予測へと、その応用の道を広げています。

雪氷災害分野においても、降積雪の予測から始まって、雪崩や地吹雪などの発生危険度を推定する「雪氷災害発生予測システム」がほぼ実用化のレベルに到達し、地方自治体や道路管理事業者等と協力して、試験的な運用を始めています。

さらに、全国各地の地震危険度や揺れやすさを示す「地震動予測地図」をはじめ、各種の自然災害に対するハザード情報の整備を進めると同時に、それを個人や地域にとってのリスク情報に変換し、国民一人ひとりに届けることができる環境の整備を目的として、社会科学的なプロジェクトも開始しています。

第3期の組織体制

このような数々の成果を受け、また、文部科学省や総務省・財務省との協議を経て、2011年度からは、新しい5ヵ年計画である「第3期中期計画」に沿って、研究所の業務を進めていくことになりました。

これに合わせて、当研究所の組織体制については、かなり大幅な変更を行いました（図1）。

研究部門の体制については、これまで災害種

別ごとに地震研究部、火山防災研究部などと分けておりましたが、第3期ではこれを政策目標別に再編成し、観測・予測研究領域、減災実験研究領域、社会防災システム研究領域の3つに大括りすることとなりました。

従来の研究部・センターは、観測・予測研究領域内の地震・火山観測研究ユニット、水・土砂防災研究ユニット、雪氷防災研究センター、および、減災実験研究領域内の兵庫耐震工学センター、社会防災システム研究領域内の災害リスク研究ユニットに引き継がれます。

一方、管理部門については、これまで企画部・総務部という2つの部体制をとってきましたが、第3期からは、これまで企画部で行われてきた業務のうち、純粋な企画や戦略に関わる部分を独立させ、理事長に直結する「経営企画室」として再編することにしました。また、新しい総務部の下には総務と研究支援の2つのグループを置き、総務グループには総務・経理・契約・施設の各ユニットを配置しています。

次に、これまで広報普及課および自然災害情報室で行われてきた業務については、社会防災システム研究領域の下に新設される「アウトリーチ・国際研究推進センター」に引き継がれることとなりました。このセンターは第3期中期計画のひとつの目玉商品として新設される組織であり、様々な広報活動を行うとともに、防災研究に関する我が国の国際活動の核となって世界の防災力向上に貢献するこ

とを目指しています。

おわりに

2011年度からは、内閣府の総合科学技術会議が定めた「第4期科学技術基本計画」も開始されました。この計画では、我が国が直面する重要課題の解決に向けた科学技術の役割が大いに期待されており、重要課題のひとつである「豊かで質の高い国民生活の実現」の中では、自然災害に関する調査観測や予測、そして防災・減災に関する研究開発の促進が掲げられています。また、東日本大震災からの復興に向けた科学技術の推進も重要項目に挙げられています。

独立行政法人としての第3期を迎えた防災科学技術研究所は、気持を新たに、このような国の基本目標に合致する研究活動を進めてまいります。関係の皆さま方には、どうぞ暖かいご支援とご指導をお願い致します。

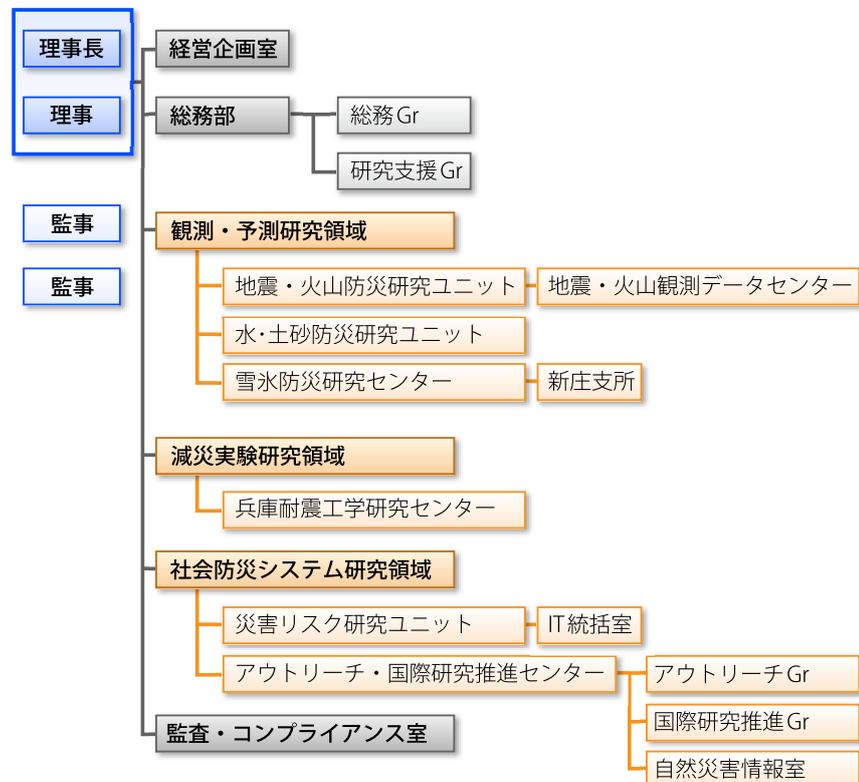


図1 第3期の防災科学技術研究所の組織